

## こころの研究ニュースの発信：こころ学ブログ

平石 界 (安田女子大学心理学部講師)

### ■プロジェクトの目的

心理学と、心理学に関連するさまざまな研究を、大学1、2年生や高校生など、これから大学で学んでいこうとする人たちに紹介したい。研究の結果をただセンセーショナルに伝えるのではなく、結論に至るまでの研究者の苦労、葛藤、遊び心、良い結果が出たときの喜びまでを、堅苦しくも見えない“学術論文”の行間から読み解いてみたい。そうして、いわゆる“心理テスト”でイメージされる“心理学”とは異なった世界が存在することを伝えたい。そのような気持ちをもって「こころ学～こころについて語るときに、我々の語ること」というブログを書いてきた。本報告では平成20年11月ブログ開設から平成24年3月末のプロジェクト終了までの活動を総括したい。

### ■ブログへのアクセス解析から

平成21年3月5日よりGoogle Analyticsを設置し、ブログへのアクセスデータを収集してきた。プロジェクト終了までの総訪問数は25,054であるが、この中にはIPアドレスなどから同一人物による複数回の訪問と推測されるものが含まれる。そこで同一人物をGoogle Analyticsのアルゴリズムにより推定すると、ユーザの数は15,042人であったと考えられる（同一人物が職場と自宅などで異なるデバイスやIPからアクセスすると別人扱いになるので、これは高めの推定値である）。1回の訪問で複数のページを閲覧することがあるので、これらを別々にカウントしたページビュー数となると39,856になる。

約4万のページビューすべてで、記事が読まれていたかということ、残念ながらそうは言えない。各ページの平均滞在時間は1分7秒となっており、全ページビューの約5割になる20,994ペ

ージビューが0-10秒の滞在となっていた。記事に目を通したと考えられる180秒(3分)以上滞在した数は11,556ページビュー(全体の29.9%)であった。

ブログへのアクセス元は国内では北海道(訪問数822)から沖縄(82)まで広がっていたが、中心になったのは東京(7,263)、神奈川(1,471)、大阪(2,414)、京都(2,653)、福岡(2,183)など大都市圏であった。また沖縄からの訪問では滞在時間は平均27秒であり、検索エンジンなどからの一時的な訪問であったと推測される。

以上をまとめれば、3年間で、ブログ開設した当初に期待したほどのアクセスを得ることはできなかったと認めざるを得ない。次節では、その原因について検討したい。

### ■アクセス数が伸びなかった理由

もっとも大きな原因はブログの更新頻度が低かったことであろう。年間で10本程度、月1本に満たない記事の投稿ペースでは遅かったことは否めない。メンバー3名ともが、研究者として業績を積み上げることが必要な立場であり、そのことが本ブログのような(いわば、アカデミックな業績としての価値は無に等しい)活動の足を引っ張った面は否めない。何よりも、それを踏まえた上でプロジェクトに取り組む覚悟が、プロジェクト代表者に欠けていた。

他の原因として、一つ一つの記事が比較的長く、また噛み砕いたつもりであっても、まだまだ表現が難解であったのかもしれない。しかし、それぞれの研究の目立つところだけを表層的に取り出して面白おかしく伝えることは、本ブログの目指すところではなかった。そのため、記事がある程度の長さになってしまったこと、上から下に目

を動かすだけで理解するには難しいものになってしまったことには、止むを得なかった面もあると考える。

記事内容の難しさについてより気がかりなのは、少なからぬ同業者の方から、ブログへの好評をいただいたことである。初対面の方からの言葉もあったことを考えると、お世辞だけとは考えにくく、だとすると心理学者たちにとって「分かりやすい、面白い」説明が、一般の読者にとってのそれと乖離しているのかもしれない。もちろん、わざわざ声をかけて悪評をいう人はほとんど居ないので、サンプリングに偏りがある可能性は高い。前者であれば心理学全体の問題であり、後者であれば本プロジェクトメンバーの問題である。

いずれにせよ、学部生向けの講義、一般読者向けの文章執筆などにおいて、表現をより磨く必要があることを実感させられた。

最後になるが、本ブログではすべての記事について、山本真也さん(ONDO creative)に素敵なイラストを描いていただいた。毎回、記事の原稿を読んだ上で楽しいイラストを用意して下さった氏に感謝したい。また折りにふれ記事へのコメントをくださった方々、その他の読者の方々にも感謝する。

ブログの記事については今後、iBooksやEPUBなどの電子書籍フォーマットの形で配布していきたいと考えている。